

平成 29 年 5 月 22 日

こうびょうげんせい

高病原性鳥インフルエンザ発生に係る環境省の対応について

1 野鳥等における取組

冬鳥の渡来に合わせ、毎年 10 月～翌年 4 月に全国の渡来地で糞便を採集。また、通年で死亡野鳥等から検体を採取し、鳥インフルエンザウイルスの保有状況を調査（野鳥サーベイランス）。

平成 28-29 シーズンは、野鳥等において 22 都道府県 218 例の高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6 亜型）が確認され、1 シーズンで過去最高の確認件数となった。

参考：過去 10 年の野鳥等における高病原性鳥インフルエンザの発生状況（件）】

	H19-20	H20-21	H21-22	H22-23	H23-24	H24-25	H25-26	H26-27	H27-28	H28-29
野鳥等	5	0	0	61	0	0	0	8	0	210
糞便	0	0	0	1	0	0	0	3	0	5
水検体	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
計	5	0	0	62	0	0	0	12	0	218

発生した場合、回収地点周辺半径 10km を「野鳥監視重点区域」に指定し、野鳥の監視を強化。全国の監視の対応レベルも引き上げ、監視を強化。都道府県、大学等検査機関、関係省庁等と速やかに情報共有、連携の上対応。平成 29 年 5 月 11 日 24 時（5 月 12 日 0 時）をもって、すべての野鳥監視重点区域が解除されたこと、また冬鳥の渡りのシーズンも終盤となっていること等を踏まえ、国内の監視の対応レベルの引き下げを行い、5 月 12 日に都道府県等に事務連絡を発出。

野鳥での発生状況

場所	検体	検出日
いづみし 鹿児島県出水市	ねぐらの水（1 例）	11 月 18 日
	ナベヅル 23 羽	11 月 22、24、28、29、12 月 2、5、7、9、12、16、19
	ヒドリガモ 3 羽	11 月 28 日、12 月 6 日
	カモ類糞便（1 例）	11 月 28 日
	オナガガモ 1 羽	11 月 29 日
	マナヅル 1 羽	11 月 29 日

秋田県秋田市	コクチョウ 3羽	11月21、28日
	シロフクロウ 3羽	11月30日、12月12日
鳥取県鳥取市	カモ類糞便(3例)	11月21、28日
〃 米子市	コハクチョウ 2羽	11月30日
岩手県盛岡市	オオハクチョウ 9羽	11月28日、12月26日、1月2日、6日、18日、2月20日、3月14日、3月21日
	マガモ 1羽	3月1日
〃 滝沢市	マガモ 1羽	12月19日
〃 一関市	コハクチョウ 1羽	12月22日
	オオハクチョウ 2羽	12月30日、1月4日
〃 花巻市	オオハクチョウ 1羽	1月2日
	コハクチョウ 2羽	1月2日、1月4日
	ハクチョウ類 1羽	1月13日
〃 大船渡市	オオバン 1羽	1月4日
〃 紫波町	オオハクチョウ 1羽	2月1日
宮城県登米市	マガン 1羽	11月29日
〃 栗原市	マガン 1羽	12月5日
兵庫県小野市	カモ類糞便(1例)	12月1日
〃 西宮市	キンクロハジロ 1羽	1月13日
	ユリカモメ 1羽	2月1日
〃 伊丹市	コブハクチョウ 15羽	1月18日、24日、30日、2月2日
北海道苫小牧市	ハヤブサ 1羽	12月5日
〃 北見市	オオハクチョウ 2羽	12月8、13日
〃 上士幌町	フクロウ 1羽	12月20日
〃 音更町	ハヤブサ 1羽	12月22日
〃 白老町	オナガガモ 1羽	12月28日
〃 厚岸町	オオハクチョウ 3羽	1月24日、27日
〃 浜中町	オオハクチョウ 1羽	3月6日
新潟県阿賀野市	コハクチョウ 13羽	12月7、12、13、20、22、28日
	オオハクチョウ 2羽	12月13日、1月27日
〃 上越市	ハシボソガラス 1羽	12月9日
	ハヤブサ 1羽	12月9日
〃 新潟市	コハクチョウ 1羽	12月28日
〃 村上市	ハヤブサ 1羽	1月13日
茨城県水戸市	オオハクチョウ 1羽	12月7日
	ユリカモメ 7羽	12月12、26、30日、1月6日
	コブハクチョウ 30羽	12月13、16、26、27、30日

	コクチョウ 14 羽	12月26、30日、1月6、12、21、25、31日
	カンムリカイツブリ 3 羽	12月30日、1月6日
	ホシハジロ 1 羽	12月30日
" 鹿嶋市	ユリカモメ 2 羽	12月26日、1月6日
	オオハクチョウ 2 羽	1月6、31日
" ひたちなか市	ユリカモメ 1 羽	12月30日
" 潮来市	オオハクチョウ 1 羽	1月21日
福島県福島市	オオハクチョウ 1 羽	12月8日
" 鏡石町	オオハクチョウ 1 羽	12月28日
愛知県名古屋市	コクチョウ 3 羽	12月12日
	シジュウカラガン 4 羽	12月、10、13、28日
	マガモ 2 羽	12月13日
	ヒドリガモ 1 羽	12月13日
	飼養施設の水 (2 例)	1月5日
" 豊橋市	ヒドリガモ 1 羽	1月13日
" 西尾市	ホシハジロ 2 羽	1月13、27日
	スズガモ 1 羽	1月20日
" 蒲郡市	スズガモ 1 羽	2月6日
青森県八戸市	オオハクチョウ 1 羽	12月15日
	オオタカ 1 羽	1月11日
" 三沢市	コブハクチョウ 1 羽	12月20日
	オオハクチョウ 1 羽	1月6日
" 弘前市	オオタカ 1 羽	12月22日
" 平内町	オオハクチョウ 1 羽	12月22日
" むつ市	オオハクチョウ 1 羽	12月22日
" 十和田市	オオハクチョウ 1 羽	1月6日
栃木県真岡市	オオタカ 1 羽	12月16日
" 大田原市	オオハクチョウ 1 羽	1月27日
" 那須塩原市	オシドリ 1 羽	2月27日
三重県明和町	オオタカ 1 羽	12月20日
長崎県諫早市	ハヤブサ 1 羽	12月28日
京都府京都市	コブハクチョウ 7 羽	12月23日
山口県山口市	ホシハジロ 1 羽	1月17日
滋賀県草津市	オオバン 1 羽	1月20日
大分県宇佐市	ノスリ 1 羽	1月27日
石川県加賀市	ヒシクイ 2 羽	2月6日
東京都足立区	オナガガモ 1 羽	2月15日
岐阜県各務原市	ハヤブサ 1 羽	3月1日

2 家きんにおける取組

家きんで高病原性鳥インフルエンザが発生した場合の対応は、以下のとおり。

発生農場周辺半径 10km を「野鳥監視重点区域」に指定し、野鳥の監視を強化。

- 発生県を管轄する地方環境事務所に、県と連携し、現地周辺の野鳥に関する情報収集を指示。

「野鳥緊急調査チーム」を現地に派遣。

野鳥緊急調査チーム：現地の状況把握、指導助言等を実施。

H28-29 シーズンの家きんにおける発生件数は9道県、12農場、約166万7千羽の家きんが殺処分

H22-23 は9県、24農場、約183万羽殺処分

家きんの発生を受けての対応状況

確認日	場所	種類	野鳥緊急調査チームの派遣	野鳥監視重点区域の設定日
11月28日	青森県青森市	あひる	12月1日～6日	11月28日
11月29日	新潟県関川村	採卵鶏	12月1日～3日	11月28日
11月30日	新潟県上越市	採卵鶏	12月6日～8日	11月30日
12月2日	青森県青森市	あひる	12月1日～6日 1例目と併せて実施	11月28日
12月16日	北海道清水町	採卵鶏	12月20日～23日	12月16日
12月19日	宮崎県川南町	肉用鶏	12月22日～24日	12月19日
12月27日	熊本県南関町	採卵鶏	12月28日～30日	12月27日
1月14日	岐阜県山県市	採卵鶏	1月17日～19日	1月14日
1月24日	宮崎県木城町	肉用鶏	実施済み (12月22日～24日)	12月19日
2月4日	佐賀県江北町	肉用種鶏	2月7日～9日	2月4日
3月24日	宮城県栗原市	採卵鶏	3月28日～29日	3月23日
3月24日	千葉県旭市	採卵鶏	3月27日	3月23日